

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第95号
2026.2.1

特集

15歳の目

～自分たちにできること～

中学生模擬議会

P2～5

CONTENTS	● 12月定例会で決まったこと …… P6	● 議会活動日誌 …………… P17
	● 審査のなかみ …………… P7	● 行政視察 …………… P18
	● 町政のここが聞きたい！ 一般質問 …………… P9	● 自治のチカラ・モニター募集 … P20



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。



特集

15歳の目

～自分たちにできること～

次世代を担う箕輪中学校3年生による模擬議会を10月29日に開催しました。

町に対する意見を聴き、その声を町政に反映させたり、議会に興味をもってもらうことも目的です。箕輪学のテーマに沿った10チーム編成で質問を作成し、3学年全員が議会を体験しました。



町の情報をもっと身近に

花岡さん

サポート
原さん

質問

町内には魅力的なお店が多くありますが、SNSを使っていない人には情報が届きづらいと感じます。駅や公共施設などに掲示板を設置し、誰でもお店の情報やイベント案内を貼れるようにすれば、多世代に情報が伝わると考えます。またお店同士のコラボ商品を作ってみてはどうでしょうか。

答弁

町長▶ SNS以外での情報発信も大切です。駅や公共施設などで掲示板を活用し、誰でも地域情報を貼れる仕組みづくりを検討します。掲示ルールや管理方法も整理し、安心して使えるようにします。コラボ商品は既に事例があるので、商工会等と連携して広がっていきます。



SNS動画で町の魅力を発信しては

山本さん

サポート
戸田さん

質問

町内のお店や施設を取材して、パンフレットや動画作成をしました。町の魅力を広く伝える方法として、SNSのショート動画を活用してはどうでしょうか。私たちの世代はテレビをあまり見ないため、TikTokやInstagramのリアル動画の方が届きやすく、イベントの集客にもつながると考えます。例えば30秒程度で「お店紹介」「イベント告知」をシリーズ化し、町公式アカウントで定期発信することはできませんか。

答弁

町長▶ 町では「ふるさとCM大賞」への応募を続けていますが、SNS広告やテレビCMは費用面の課題もあるため、効果を見極める必要があります。インターネット広告の活用や、SNSでの情報発信についても、今後の広報体制の中で検討してまいります。



センターパーク松島をもっと便利に

中坪さん

サポート
向山さん

質問 センターパーク松島について調べ、現地を見に行きました。アンケートを行ったところ、センターパークを知らない人が多く、もっと知ってもらいたいと感じました。

そこで、災害時に無料で飲み物を提供できる災害支援型自動販売機の設置や、日差しを避けて休憩できる東屋を設置すれば、散歩や休憩で利用する人も増えるのではないかと思います。

答弁 **町長**▶ここは、30年以上前に中心市街地整備事業として整備されました。災害支援型自動販売機は、すぐ近くの避難所となる「みのわBASE」にすでに設置されています。

センターパークは避難場所として想定していないため、設置の必要性は高くないと考えています。東屋については、公園全体の機能や利用状況を踏まえ、今後検討していきたいと考えています。



センターパーク松島に案内看板を

敦賀さん

サポート
中平さん
三木さん

質問 センターパーク松島は利便性もよく多くの方が利用していますが、その名称があまり知られていない現状があります。実際に看板を作成し設置してみたところ、認知度向上に有効だと感じました。町として正式な案内看板の設置を検討していただけないでしょうか。

答弁 **町長**▶名称の認知が進んでいないという点をご指摘の通りです。自ら看板を制作された取り組みに敬意を表します。今後は公園の周知に向け、案内表示の工夫も含めて検討してまいります。



みのわ祭りを更に盛り上げるために

鳥山さん

サポート
伊東さん

質問 みのわ祭りをさらに盛り上げたいと考え、スタンプラリーを企画して、運営に関わらせていただきました。

その中で、実行委員会のメンバーが固定化しており、特に20代や30代の参加が少ないと感じました。実行委員の募集について、新聞や回覧板だけでなく、SNSやみのわBASEなどの施設を使って、もっと広く周知してはどうかと考えます。

答弁 **町長**▶みのわ祭りは、行政ではなく町内の実行委員会が主体となって運営しています。

実行委員の固定化や若い世代の参加が少ないことは課題だと認識しています。募集方法は、これまでの方法に加え、SNSなどを活用することも検討していきたいと考えています。

また、実行委員とは別に、当日のボランティアとして参加できる方法もありますので、周知を工夫していきたいと考えています。



環境と心を豊かにする取り組みを

小林さん

サポート
寺沢さん

質問 町の環境や交流について学ぶ中で、3つの提案を考えました。1つ目は、ごみ削減のためにエコバッグを配布すること。2つ目は、プリンターと種を配り、町民が自宅で育てた花をイベントで展示すること。3つ目は、小規模な音楽イベントを増やして町民が気軽に音楽に触れられる機会をつくることです。これらの提案について町の考えを伺います。

答弁 **町長**▶エコバッグの一律配布は消極的だが、イベント景品等での配布は検討の余地があります。花の展示は世代間交流にもつながる良い提案で、展示方法や時期を工夫し、大きなイベントでのおもてなしなど、活用場を検討します。音楽イベントは定期開催は難しいものの、単発での実施について前向きに考えていきます。



防災の意識をもっと身近に

吉岡さん

サポート
小林さん

質問 防災について学び、町内の危険箇所を実際に見て回りました。その中で、居住歴の浅い人や小中学生が、町の災害リスクを十分に知らないと感じました。

そこで、地区ごとの危険箇所を回る活動や、体験談を聞く会、防災訓練の日程などをまとめたパンフレットを作成し、回覧板で共有してはどうか。

また、家庭や地区単位で備蓄について話し合う活動を進めるべきでは。

答弁 町長 ▶ 災害はいつ起こるか分からないため、日頃からの備えが重要です。

町では防災訓練を行っていますが、小中学生の参加が少ないことは課題です。家庭では最低3日分、できれば1週間分の備蓄をお願いしています。

ローリングストックや携帯トイレの備えも重要です。ハザードマップを活用し、家族で話し合っていたくことをお願いしたいと考えています。



全小学生にスマートフェンシングの体験を

伊藤さん

サポート
宮下さん

質問 箕輪町がフェンシングの町であることを学び、スマートフェンシングを小学生に体験してもらう活動を行いました。その結果、フェンシングをやってみたくらいという声もありました。

町内のすべての小学生にスマートフェンシングを体験してもらう企画を行ってはどうでしょうか。

答弁 町長 ▶ 箕輪町は長年フェンシングの普及に取り組んできました。

スマートフェンシングは、競技を知ってもらうきっかけとして有効だと考えています。

学校教育の中での位置づけについては教育委員会と相談が必要ですが、イベントとしての活用は今後も進めていきたいと考えています。



農業体験の機会を増やしてみれば

飯澤さん

サポート
生坂さん

質問 野菜の栽培を体験し、農業の大変さと楽しさの両方を知りました。農業をする人を増やすためには、まず農業を体験してもらうことが大切だと思います。

そこで、農業体験の機会を増やしたり、農業に関する補助制度について、もっと分かりやすく周知してはどうでしょうか。

答弁 町長 ▶ 農業体験は、農業への関心を高めるうえで有効だと考えています。

町でも体験の機会や補助制度を用意していますが、引き続き周知に努めていきたいと考えています。

一方で、農業は産業であり、情報自ら取りに行く姿勢も重要だと考えています。

農業を支える人を増やすことは、町の将来にとって大切なことだと考えています。



ニュースポーツ導入で健康づくりを

有賀さん

サポート
大家さん

質問 小学生や高齢者とスポーツ交流を行い、スポーツを通して世代を超えた交流が生まれることを実感しました。その中で、体力や年齢に関係なく楽しめるニュースポーツが大切だと感じました。ポッチャ、ユニカール、シャッフルボードの3つは、狭い場所でもでき、誰でも参加しやすいです。

ニュースポーツのイベントを行い、子どもから高齢者まで一緒に楽しめる健康なまちづくりを進めては。

答弁 教育長 ▶ 年齢や体力に関係なく楽しめるスポーツの考え方には賛同。課題は公式用具をそろえるには費用がかかるということ。身近な道具を工夫して代用品を作るなど、中学生の皆さんのアイデアを活かせば実現の可能性があります。

具体的な企画があれば、学校や町としても支援していきたいと考えています。



本日は、お忙しい中、中学生模擬議会を開催していただき、ありがとうございました。

今年度は、総合的な学習の時間を通して、箕輪町のために自分たちにできることを考え、グループに分かれて活動してきました。その中で考えた提案の一部を、この議場で発表させていただきました。町長、教育長をはじめ、皆様に丁寧に答弁していただきました。私たちの活動や、本日の提案が、少しでも町の発展につながれば嬉しく思います。



生徒会長

清水さん



中学生正副議長

千葉さん



大槻さん



箕輪町議会議長
入杉 百合子 議員

中学3年生の皆さんが、若い感性で町の課題を捉え、行政への提案に結び付くよう取り組んできた様子が良くわかり、大変嬉しく思います。

この経験が大人になった時、箕輪町のことを考えるきっかけとなることを願っています。

一般質問の内容からは、私たち大人も学ぶことが多くありました。今日発表した皆さんは、緊張もあったと思いますが、成功も失敗も含めて、それは発表した人だけの特別な経験です。ぜひ誇りに思ってください。

10年後、もしこの場から議員が生まれたら私はきっと泣きます。

皆さんのこれからの人生を、心から応援しています。



議会活性化委員長
上田 学 議員

初めて議場に入って、とても **緊張** しました。でも、自分たちの考えを町長や教育長に直接伝えられる貴重な経験になりました。



友だちの意見を聞いて、自分とは **違う考え方** があることに気づきました。話し合うことの大切さを学びました。

将来、選挙で投票する立場 になることを意識しました。これからも町のことを考えていきたいです。

町のことをこんなに **真剣に** 話し合っている場があると知りました。議会が少し身近に感じられるようになりました。



議員や町長が、私たちの言葉を否定せずに **受け止めてくれた** のが印象的でした。安心して発言できました。

議会に参加して…

生徒たちの感想

質問を考えるのは大変でしたが、町の課題を知るきっかけになりました。ニュースや広報を **見る目が変わった** と思います。

自分たちの意見を、きちんと聞いてもらったことがうれしかったです。「検討する」という言葉に、**町とつながっている実感** がありました。



12月定例会でこんなことが決まりました



■会期：12月1日(月)～16日(火) ■議案：27議案 ■11月・12月臨時議会：各1議案

**補正
予算**

みのわテラス道の駅化 登録関連事業

道の駅登録に向けた施設改修
の実施設設計などの委託料



1,405万円

**補正
予算**

若者世帯定住支援 奨励金

若者世帯の定住促進を目的と
した奨励金申請増



880万円

**補正
予算**

空き家改修費等 補助金増額

空き家活用促進のための補助
金申請増



400万円

**条例
制定**

町産業団地造成事業 特別会計条例の制定

産業団地造成事業の円滑な運営
とその経費の適正を図るための
特別会計を設置する

**請負
契約**

箕輪西小学校蓄電池 設置場所変更

請負者 日之出建工株式会社
変更後金額 2億3,684万円
(254万円増)

**期間
延長**

第5次振興計画の 期間延長

コロナ禍の影響で計画が延び、
成果を評価するには期間が不
足のため2025年までの計画を
2年間延長する

**条例
制定**

分担金徴収条例の 一部を改正

農道、林道等を工事する際に負担
していた関係区の設定率を減らす
林道整備事業30/100を15/100
にするなど



陳情

診療・介護・障がい福祉 等報酬の10%以上 引き上げを求める

提出者 長野県医療労働組合連合会
長野県社会保障推進協議会

採
択

賛否が分かれた審議

箕輪町防災交流施設みのわBASE 指定管理者の指定

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
令和8年4月1日から令和11年3月31日まで



指定管理料

8,517万円

平出 広志	荻原 省三	金澤 幸宣	白鳥 真吾	中野 友美	上田 学	岡田 建二朗	小口 智世	南 朋子	寺平 秀行	北野 めぐみ	中澤 清明	中村 政義	小出 嶋文雄	入杉 百合子	結果
○	○	○	○	×	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	可決

▶ P7 「議員の視点」参照

11月・12月臨時議会

**補正
予算**

みのわ温泉源泉ポンプ修繕事業

源泉ポンプの修繕工事

1,086万円

**補正
予算**

箕輪西小学校太陽光発電設備・ 蓄電池設置場所変更に伴う増額

公共施設への再生可能エネルギー設備整備

254万円

**補正
予算**

箕輪東小学校長寿命化 屋根塗装工事

校舎の長寿命化を目的とした屋根塗装工事

374万円

**補正
予算**

物価高騰対策

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業 等

箕輪町で行う事業 (一部抜粋)

生活応援券

町民一人当たり5,000円分の
「物価高騰生活応援券」の給付

1億2,689万円

物価高対応子育て応援手当

対象児童一人につき一律20,000円

8,206万円

農薬購入費補助金

対象農家へ農薬購入費の20%を補助
約300農家(上限20万円)

1,500万円

中小企業者支援金

中小企業者・個人事業者等の対象事業者へ
規模により給付する

5,000万円

ココに注目!

審査のなかみ

委員会で審査された内容

Q 議員

A 担当課

総務
産業

農地台帳発送等郵券料増

Q 農業事務嘱託員が行なっている農地台帳の配布を、郵送発送に変更するためだが、嘱託員や台帳の回収はどうなるのか。

A 返送用封筒を入れ、変更がある時のみ返送とする。町の農業事務嘱託員は廃止となる。



農業事務嘱託員とは
農業に関する書類などを該当する家へ配布したり取りまとめるために任用された地域（常会）の代表者。町、JA、営農組合などの調整。

総務
産業

箕輪町産業団地造成事業（木下一の宮）特別会計条例制定

Q 条例の公布はいつか。公布前にかかる費用は。

A 令和8年度から。それ以前にかかる費用はほぼない。令和8年度は不動産鑑定費用。令和9年度から用地買収などで大きく費用がかかる予定。



総務
産業

防災交流施設みのわBASE 3年間の施設指定管理者の指定 ▶シダックス大新東サービス(株) 上限 8,517万円

Q 災害時、指定管理者の対応は。

A 有事の際は、2次避難時の活用等になるが、訓練や実際の連携について指定管理者と協議する。

Q エレベーター保守など追加業務もあるが、施設利用料やカフェの利益は指定管理者の受取りとなる。現在の管理料より増額となる理由は。

A 主は賃金上昇の加算分。開所日・時間・不特定多数の出入りの中での体制の最適化を設定。

指定管理者による
運営になる
みのわBASE



Q 審査体制5人について適正か。

A 委員長は副町長、委員は役場職員の課長4人。5段階評価配点式。

Q 審査のなかで、採用された事業者が優位となった、いい提案があったのか。

A 管理体制（有事の際の体制）と、利用が少ないキッズスペース活用の提案があった。

議員の 視点

賛成
期間は妥当
総務省は、3～5年が指定管理の通常といている。

賛成
改善は今後で
1年でPDCAサイクルを回すのは難しい。もしサービスが低いのであれば、ここから3年で改善していけばいい。

賛成
実績はある
2年間の実績は、十分な期間。

賛成
早期に移行を
企画の自由度が効く指定管理へ早期に移行すべき。

賛成
金額は妥当
指定管理料は、委託経営状況からみて妥当

反対
情報公開が不十分
提案内容・収支計画の詳細が示されず、8,500万円の妥当性が検証できない。

反対
3年契約は判断が早い
現在の運営では、町民から改善を求める声が多い。このままでは、課題を固定化するリスクがある。



反対
自走化に向けた制度設計の必要性
自主事業の成果によって指定管理料を段階的に下げていくインセンティブ型にし、将来的な財政負担軽減につなげるべき。

反対
町民活動支援の実績と計画性への懸念
現在の運営は、施設管理者側の関与が感じられない。計画的な支援・発信の仕組みや伴走の姿勢が十分に示されていない。

審査のなかみ

委員会で審査された内容

Q 議員 A 担当課

福祉文教 学校教育

Q 準要保護児童就学援助費の申請数は。

A 小学生児童が635人中、138件である。



準要保護児童とは
経済的な理由で、通学が困難な家庭の子どもでもであると
教育委員会が認めた児童、生徒

福祉文教 公共施設の光熱費増

Q 公衆トイレの電気料(40万円増)は、何カ所分か。

A 木ノ下駅と松島駅、沢。松島コミュニティの横の
合計4カ所だ。冬場に凍らないためのヒーターを常
につけているので、高額になっている。

Q 保育園運営費の光熱水費(200万円増)の理由は。

A 7年度、松島保育園に空調設備を3台、東箕輪保育
園に4台設置した。夏場、かなり暑かったため。

議員の 視点

ゼロカーボン推進として進めてきた太陽光
発電やLED化による電気料金削減の効果
は出ているのか。施設ごとの効果は確認
できるのか。

町は、一定の削減効果を見込んだが、電
気料金単価の上昇等により増額補正が必
要となった。施設ごとの効果分析がで
きるよう進めているとのこと。
今後の経過を注視する。

福祉文教 障がい福祉

Q 自立支援事業費(1億4,700万円増)が高額の理由は。

A 毎年、12月のタイミングで予算措置をするため高
額にみえる。増加傾向にあるのも事実。

福祉文教 地域交流センター

Q 太陽光発電修繕282万円の内容は。

A 設備の劣化そのものではなく、売電できない時で
も自家消費できるようにするための工事である。

福祉文教 児童福祉法等の一部を改正

ココに注目!

「地域限定保育士とは」

深刻な保育士不足の地域で、保育士を確保するため、
自治体が独自で実施する保育士試験に合格した人。
3年間はその地域でのみ就業しなければならない。

Q 町に地域限定保育士に該当する方がいるか。

A 長野県ではまだ認定されていないので、今のとこ
ろはいない。

Q 長野県が地域限定保育士につ
いて取り組む必要があるか。

A 保育士の養成校に通う学生が
減っている。資格認定試験を
増やすことも必要だが、保育
士のなり手を増やすことが先
決だ。



福祉文教 国民健康保険

Q 上伊那広域連合の負担金増(701万5千円)の算出に
関して、どのようにしてこの金額になったのか。

A 費用を上伊那8市町村で按分して、町の負担金
が出ている。人口割95%、地域均等割5%で算出さ
れている。

現地確認 12月10日(水)

総務産業常任委員会

- 西小学校
蓄電池設置箇所変更場所
- 産業団地造成予定地
(木下区一の宮)
- みのわテラス道の駅化の進捗
- 災害復旧箇所(萱野線・中樽線)



8月豪雨災害箇所

福祉文教常任委員会

- 文化センターホール音響設備
- 町民体育館(建設の進捗)
- いろはぼけっと砂場
- 沢・グループホーム建設予定地
- 南小学校給食試食



文化センター音響室

町政の
ここが
聞きたい!

一般質問

議員13人が町に
質問・提案しました。

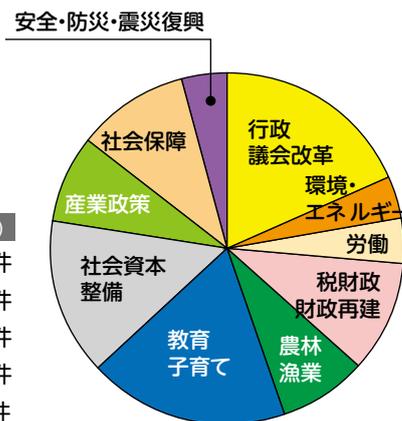


主な質問	議員	ページ
交付金で物価高対策、予定は	寺平 秀行	10
振興計画延長をどう生かすか	上田 学	10
一の宮における産業団地造成の経緯は	荻原 省三	11
国の物価高対策交付金 町はどんな支援に使うのか	中澤 清明	11
未来に残すのは太陽光パネルに埋もれた田園ではない	平出 広志	12
『アジア・太平洋戦争と箕輪』特別展開催の想いは	金澤 幸宣	12
公共施設へ生理用品の無償配備を	岡田建二郎	13
持続可能な町へ公園・公共交通・採用を問う	中野 友美	13
来年度の予算編成の基本的考え方は	小出嶋文雄	14
気候町民会議を開催した理由は	白鳥 真吾	14
箕輪町の小中学校給食の特徴・取り組みは	中村 政義	15
町におけるビジネスケアラーの実態は	北野めぐみ	15
学校と地域の垣根を低くするための課題は	小口 智世	16

「あなたの関心事はどれ？」

12月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごとに可視化してみました。

政策分野の内訳		質問件数(49件)	
行政・議会改革…	9件	教育・子育て…	9件
環境・エネルギー…	2件	社会資本整備…	7件
労働…	2件	産業政策…	4件
税財政・財政再建	5件	社会保障…	5件
農林漁業…	4件	安全・防災・震災復興…	2件



知ってる?

みのわまちのいいところ

松島神社の「新嘗祭」

毎年11月23日、松島区の氏神さまである松島神社では、一年の実りに感謝する「新嘗祭」が今も変わらず静かに営まれます。五穀豊穡、無事故・無災害、商工業の発展など、地域の願いを神前にささげる大切な行事です。

収穫を祝う文化は世界中にあり、ハロウィンのもととの起源も収穫祭、スペインのトマト祭りも豊作を祝う風習から生まれたといわれています。人は食べ物があってこそ生きられる——その普遍的な願いは、どの国でも同じです。

日本の新嘗祭は、自然の恵みへの感謝を大切にしてきた儀式であり、松島神社の新嘗祭もまた、派手さはなくとも地域をそっと支える祈りの時間です。長く受け継がれてきたこの営みが、松島区の秋をしつとりと彩り、次の一年への願いを静かに結んでいます。



箕輪町の「いいところ」があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

交付金で物価高対策、 予定は

町長 生活者や中小企業等へ支援策検討

議員 物価高騰対策として重点支援地方交付金をどう活用するのか。

町長 国の補正予算成立後、年内から年明けにかけて生活者や中小企業、農業者への支援策を検討し、必要な事業は十二月中の臨時議会を開いてでも早期に実施する。



てらひら しゅうこう
寺平 秀行 議員

担い手育成と農業支援は

議員 農業の担い手不足と今後の支援策は

町長 2035年には基幹的農業従事者が約200人に減る厳しい見通しであり、次世代人材支援事業や兼業就農・定年帰農の支援、10ヘクタール以上の中規模農家や法人みのわ営農の規模拡大、直売所機能強化などにより、若い担い手を育成し農地を守る考えである。

議員 スマート農業や農福連携の推進は。

町長 スマート農業は省力化の重要な手段であり、機械導入補助や実演会の継続に加え、農地の集約化や圃場整備を進めて導入しやすい環境を整える。農福連携は現状一部のアスパラ作業にとどまっているが、県のセルブセンター等と連携し、障害者が農作業に関わる機会を広げる仕組みづくりを検討する。

三層防御でサイバー対策

議員 サイバー攻撃対策の成果と課題は。

町長 サイバー攻撃対策では、統合型セキュリティ機器の設置や端末更新、職員研修などハード・ソフト・人的対策の三層で備え、攻撃時は原因究明とネットワーク遮断により被害拡大を防ぎつつ、広域連合と連携して行政サービスの継続を図る考えである。

その他の質問

- 熊のゾーニング、課題は
- 子どもが主役の学校づくりについて

振興計画延長を どう生かすか

町長 参加型の手法を検討する

議員 振興計画の延長期間を、単なる先送りではなく、町民参加を深める時間とすべきではないか。世代や立場の異なる主体が同じテーマを連続的に議論するリレー形式や、専門家と学びながら考える熟議型の手法を取り入れ、町民の意見を次期計画に反映させる考えは。



うえだ まなぶ
上田 学 議員

町長 町民参加の手法は重要であり、リレー形式や熟議型の考え方は有効な選択肢である。参加しやすい形を工夫し、策定過程そのものが町民の関わりにつながる計画づくりを進めていきたい。



図書館の役割を再考

議員 図書館は本の貸出だけでなく、学びや交流の拠点としての役割が求められている。今後どのような図書館像を目指していくのか。



町長 市町村単位の生活圏に図書館は必要である。ただし、従来と同じ機能にとらわれず、居場所や学びの拠点としての役割を含め、今後検討していく。

ICT教育の次の段階

議員 1人1台端末導入後の成果と課題、個別最適な学びを今後どこまで進めていくのか。

教育長 ICTは学びを支える道具であり、デジタルとアナログのバランスが重要。教材共有や学習ログの活用を進め、授業改善と個別最適な学びを広げていきたい。

熊対策のこれから

議員 熊対策を担う人材の高齢化を踏まえ、行政ハンター制度や広域での対応について、町の考えは。

町長 将来的な必要性は認識しているが、市町村単独での導入は難しく、県レベルでの対応が望ましいと考える。

一の宮における 産業団地造成の経緯は

町長 前回の反省を踏まえ丁寧に進める

議員 木下一の宮地籍における産業団地造成計画について、住民説明が不十分との声がある。新聞で初めて知ったという意見もあり、町としての説明の経緯と、今後の住民対応をどのように考えているのか。



おぎはら しょうぞう
荻原 省三 議員

町長 本計画は町全体の土地利用と雇用創出に関わる事業である。今年度5月以降、地権者・耕作者へ個別説明を行い、区長や常会、周辺土地所有者へ段階的に説明してきた。前回の反省を踏まえ丁寧に進めており、今後も意見を真摯に受け止め対応する。

造成による交通への影響は

議員 造成に伴う交通環境や営農への影響、特に道路安全や渋滞、農地への影響についての対応は。

町長 道路環境や通学時の安全、渋滞への懸念は重要な課題である。造成時および操業後の交通変化を見据え、安全対策や路盤整備を検討する。営農環境についても、日照や霜などへの影響が出ないように進出企業と十分協議する。

営農型太陽光の目的は

議員 営農型太陽光発電に関するシンポジウム開催の目的は何か。

町長 県の事業として学びの機会を提供したものであり、導入を推進するためではない。農業の持続と地域共生を前提に、是非を議論することが目的である。

農地保全の考えは

議員 農地を守る姿勢について農業委員会の考えは。

農業委員長 農地は農地として守ることが大前提である。営農型太陽光は農業継続の手段に過ぎず、地域と共生できないものは認めない。今後も農業を守る立場で慎重に議論していく。

国の物価高対策交付金 町はどんな支援に使うのか

町長 食料品高騰対策を基本に考える

議員 政府の総合経済対策では重点支援地方交付金を拡充し、生活者・事業者向けの従来の取組みを継続しつつ、お米券や電子クーポンをはじめとする食料品の高騰に対する更なる取組みを進めるとしているが、この交付金は町で自由に使い道を決められるとされている。町ではどのような物価高騰対策に取り組むのか。



なかざわ きよあき
中澤 清明 議員

- ① どのような層を対象にどのような分野の物価対策に取り組むのか。
- ② 食料品の高騰対策にはどう取り組むか。
- ③ 光熱水費など生活支援給付を行うか。
- ④ 賛否が分かれるお米券には取り組むのか。
- ⑤ プレミアム商品券についてはどう考えているのか

町長 ①②最近の物価高の一番の課題はやはり食料品分野だというふうに思っているので基本的には食料品の高騰対策として支給をしていきたいというふうに思っている。支援の対象とか方法については、今制度設計をしているところで一律支給か世帯支給かが課題となっていて検討中である。

③ 昨年までは動力燃料とか灯油券に支援してきたが今回は食料高騰対策をしていきたい。

④ 町内を見渡すと生産をしている世帯もあるし、消費している世帯もあるということで、お米券のその制度設計が一体何のためなのかということはなかなか分からない。町としてはお米券は活用しないという方向で考えている。

⑤ 食品について一定の限定をした生活支援券として考えているので商工会とも相談していきたい。



物価高騰が続く食料品

その他の質問

- まち、ひと、しごと総合戦略について
- 障がい者グループホームについて など

未来に残すのは太陽光パネルに埋もれた田園ではない

町長 景観を意識しない営農型はない

SDGs未来都市の環境は

議員 自然環境や景観を守る都市を目指しているが、先月営農型太陽光発電を進めるシンポジウムが開催された。厳しい条件を考えると経営として成り立つとは到底思えない。

町長 太陽光パネルに対して様々な意見があることは誰もが承知している。地域でいかに電力を作るか、それが農業者にプラスにならなければこの発電事業は始まらない。

議員 未来に残すべき姿はソーラーパネルに埋もれた田園風景ではない。未来都市として町民の未来にふさわしい事業選択を強く要望する。

交通事故多発を受けて

議員 交通事故の多くが交差点で発生している。春日街道や木下南新町と県道美篤箕輪線との交差点等の事故多発箇所には一時停止標識の早急な設置を要望する。

町長 昨年は公安委員会に設置申し込み6件したが1件も認められなかった。町としてできるカラー舗装や注意喚起看板を立てるなどを進めたい。議員指摘の箇所については、設置の再要望をする。

ふるさと納税返礼品問題

議員 産地許可外の梨が混在した原因と今後の対策はどうする。

町長 原因は、自社農場の収穫量では必要量を確保できず、独自判断で他社から購入したため。再発防止策として町、返礼品事業者、中間事業者間で遵守すべきマニュアルを定め、制度の勉強会を開催し、職員間でのチェック体制強化を図る。

議員 果樹については品質の苦情があると聞く、これを契機に品質チェックも厳しく行い、寄付者の満足度を高める方策も必要である。



ひらいでひろし
平出 広志 議員

『アジア・太平洋戦争と箕輪』特別展開催の想いは

教育長 戦争に関わった郷土の歴史を知る

議員 町発足70周年記念事業の一つとして、町郷土博物館で町の戦争関連の「戦後80年特別展」が開催され、併せて展示内容を網羅した『アジア・太平洋戦争と箕輪』の冊子販売も行われた。展示開催、発行までの想いは。

教育長 柴館長から「ふるさと箕輪の地から戦地に向かい亡くなられた方々の遺品や足跡などを通じて、先の戦争が遠い昔・遠い場所での出来事でなかったことを感じてもらい、甚大な被害を出した戦争の惨禍を二度と再び繰り返さないために、戦争に関わった郷土の歴史を知ることから始めたいとの想いで開催に漕ぎ着けた。」と聞いた。また、冊子(博物館では、“図録”と呼ぶ)は、特別展が終わってもその内容を知ることが出来るよう作成した。

議員 平和の一環としてぜひ読むべきと考える。そして出来る限り広く町民に行き渡る方法、増刷・配布拡大を願う。

教育長 博物館の出前講座メニューに入れること、来年以降も箕輪学講座、ミニ展示、資料集刊行など何らかの形で戦争の記憶の継承に努めるよう館長が考えている。増刷、箕中生配布は学校と相談し検討する。



かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



特別展示に併せて町博物館から発刊された“図録”『アジア・太平洋戦争と箕輪』
¥300で販売中

令和8年度当初予算規模、予算編成の重点分野、最優先課題は

議員 諸物価、人件費、燃料費高騰、災害対応等により歳出増加は避けられない。限られた財源をどの分野に重点的に振り向け最優先に位置づけるか。

町長 例年以上に厳しい。予算総額を抑えつつ、財源確保、事業執行をしなければならない。現在の事業規模から考えて110億台に圧縮したい。

その他の質問

- 定住施策について
- 保育士の就労改善について

公共施設へ 生理用品の無償配備を

町長 文化センターへ配備を検討したい

議員 生理は女性だけに負担を
負わせるべきでない。地域全
体で課題を共有すべき。

町長 『生理の尊厳』は人権問
題である。男性も理解を深め
る必要がある。

議員 経済的負担を社会化し、公共施設のトイレに生理
用品を無償で配備しては。

町長 トイレでの衛生用品の配備には課題もあるが、試
験的に文化センターへの配備を検討したい。

議員 学校の保健室で生理用品を利用した際、返還を
求める自治体もあるが、箕輪町での対応は？

教育長 箕輪町では小中学校の保健室で提供した生理
用品の返還は求めている。

議員 小中学校のトイレでもトイレトーパーのように
衛生用品として常備し
ては。

教育長 児童・生徒に
とっては性教育の機会
でもある。周知を図る
など段階を踏んで検討
したい。



おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員



女子トイレに常備された生理用品
(豊島区役所)

町有中型バスの早期更新を

議員 町所有の中型バスがかなり消耗している。長距
離での利用も多く、安全性・快適性向上のためにも早
期の更新を。

町長 老朽化著しい中型バスは今年度中に廃車し、新
規にマイクロバスを2台購入したい。

議員 運転手の人件費や燃料等、経費が倍になるが、
町民負担が増えないよ
うに配慮を。

町長 町有バスの運行
経費の増加分につい
て、利用者へ負担を
強いることは考えてい
ない。



今年度更新予定の中型バス

持続可能な町へ 公園・公共交通・採用を問う

町長 外部知見の導入や柔軟な運用を検討する

公園の在り方と
専門知見の活用

議員 将来を見据えたビジョン
構築には、職員だけでなく、
パークPFIや公民連携に長け

た専門家(プロジェクトデザイナー)の知見を早期に取り
入れるべきではないか。

町長 現在庁内で「あらゆる世代が利用できる姿」や「災害
時対応の新設公園」を柱とする指針を検討中。住民との
検討の場も設ける。広域から支持される魅力ある公園の
ため、外部の知見を取り入れる必要性を検討したい。



なかの ともみ
中野 友美 議員

みのちゃんバスの運用改善と将来像

議員 熊の目撃情報が増える中、小
学生の安全確保のため「みのちゃん
バス」の通学利用を解禁すべきでは。

教育長 児童の安全は最優先だが、スクールバス代わり
に使うのは現状難しい。検討の必要があると考えている。

議員 不登校対策や子どもの個性に合わせた環境づくり
のため、学区をなくし公共交通を利用して希望する学校
へ通える検討は。

教育長 地理的条件や地域住民との関わりを重視してい
るため、学区フリー化には慎重。将来像検討審議会で
総合的に判断していく。



高齢者のフレイル予防と公共交通

議員 免許返納後の閉じこもりを防ぐには、若い時期か
ら車以外の移動手段を体得する仕掛けが必要だ。健康
イベント等と連動した利用促進策を。

福祉課長 免許返納がフレイルを加速させる懸念は大き
い。60代・70代からバスに親しむ機会を作れるよう、
担当課と連携し、外出のきっかけ作りを検討したい。

その他の質問

- 職員採用の現状と人材確保について
- モビリティ・マネジメントを学校教育へ

来年度の予算編成の基本的考え方は

町長 予算総額を抑えながら財源確保を

議員 令和8年度予算編成について、町長は3期目最後の年として、公約の基本政策の総括を踏まえてどのような基本的考え方で進めるのか



こいでしま ふみお
小出嶋 文雄 議員

町長 令和5年度、6年度の決算はなかなか厳しかった。単年度収支が赤字となり、財政調整基金の取り崩しを戻せなかった。令和7年度も財政調整基金を使わざるを得ない状況であり、来年度の予算編成では歳出側を少し抑え予算総額も抑えながら財源確保をし、そのうえで、任期最終年度であり基本政策に掲げたものはできうる限り実施する。

議員 来年度予算編成で公約の中で先延ばしせざるを得ないものはあるか。

町長 執行できない状況ではないと考えている。いわゆる大型事業はほぼ終了し通常ベースの予算を組み立てることにより明るく希望に満ちた予算編成を進める。

議員 振興計画期間を延長したことで次の町長選挙を睨んだことも意識しているか。

町長 みのわテラスの道の駅化、産業立地問題、町民体育館のリニューアル後のスポーツ振興と国民スポーツ大会受け入れなどに道筋をつけることが第一であり、次年度以降のことは現在全く白紙である。

みのちゃんバスのスクールバスとしての活用は

議員 中学生は通学にみのちゃんバスを活用しているが、北小、西小、中部小等の児童は2.5キロから3キロを超え、1時間近くの通学をしている児童がいる状況で、通学の安全対策上で親などが自家用車で送迎しているケースも増えており、みのちゃんバスを通学時間帯のみ活用できないか。

町長 現在のみのちゃんバスの運行状況から通学時間帯について活用は難しい。

教育長 遠距離の通学児童がいることは承知しているが徒歩での通学を基本に考えており、みのちゃんバスの運行状況からみても対応は難しい。

気候町民会議を開催した理由は

町長 町民の皆さんと考える機会として

議員 会議には町内の16歳から70歳までの30名と信州大学の学生10名が参加をして、5月・6月に計3回行われた。会議の中では、気候変動の現状、ゼロカーボンに関する県



しろとり しんご
白鳥 真吾 議員

や町の取り組みなどの情報提供を受けて、参加者がグループに分かれて議論を行い、議論の成果などについては7月に行われた「地球・環境・未来フェスinみのわ」の中で報告がされた。気候町民会議を開催した理由は。

町長 開催の目的は、町が発足70周年ということはもちろんあったが、ゼロカーボンシティ宣言をして3年目、地球温暖化がもたらす気候変動について、一人ひとりができることやどのように推進していくべきか。また、アイデアをいただきたい。そういった機会にしたいということで開催した。

ふるさとルームの現状と課題は

議員 箕輪町の学校教育の中で、各校の地域性を生かした地域との連携が示されており、その取り組みの中で行われているのがふるさとルームの設置である。地域との連携はTOCO-TONの中でも重要な取り組みの一つである。地域性を生かした交流が行われている。ふるさとルームの現状と課題は。

教育長 ふるさとルームが動き出しているところである。東小学校では以前からふれあい広場を行っており、ふれあいルームと融合するような形で動いている。中学校では先生方がサポートをお願いしたいことをリクエストして、コーディネーターさんが地域の方に呼びかけてサポートを行っている。課題としては、場所であったり、組織づくりなどこれから出てくるので、特色のある取り組みができるようにクリアしなければいけない。



東小学校「ふれあいルーム」での交流

箕輪町の小中学校給食の特徴・取り組みは

町長 町内全小中学校が自校給食である

議員 今回、中部小で開催された給食試食会に参加、そこで、今の給食についての質問、箕輪町の小中学校の学校給食の特徴・取り組みについては。



なかむら まさよし
中村 政義 議員

教育長 一言で言うと、美味しいということ。特徴は、町内全小中学校が自校給食であることである。それから、旬な地域食材の使用。取り組みとしては、地場産物を多く使った日とか、栄養士が視察した農家を紹介する、ふきはら給食の日としての給食提供。また、町独自のメニュー、フェンシング丼の提供等もある。



試食会の給食

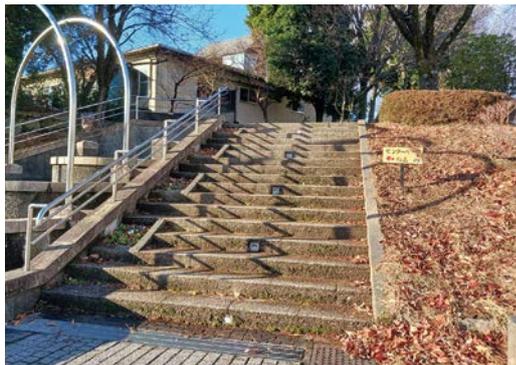
センターパークまつしまの有効活用について

議員 センターパークまつしまをより認知してもらうため愛称公募の考えは。

町長 使用開始から25年、町民にもある程度周知された場所。現時点では愛称はいらない。

議員 利用しやすい環境に整える意味でも、中学生模擬議会でも出た自動販売機設置は必要では。

町長 周辺にコンビニや近くに民間の自動販売機もあり、現時点では不要。



センターパークまつしまの階段

町におけるビジネスケアラーの実態は

町長 精神的等の負担感は減少している

議員 ビジネスケアラーの支援には、職場環境の理解や柔軟な働き方の導入が不可欠である。町として企業や事業所に対して、両立のための支援制度の周知や活用の促進、また職場への啓発活動の現状と今後の取組については。



きたの
北野 めぐみ 議員

町長 町には民間事業者が約100社参加をしている。認知症の見守り団体「すまいる」を主体として、高齢になっても働き続けられる環境づくりや介護をどのようにしていくのか、勉強会とか相談会をしていきたい。

参加型音楽療法で健康寿命を延伸

議員 健康寿命を延ばすために、町民有志による音楽レクリエーション事業が広がりつつある。今後、町として積極的にどう関わっていくか。

町長 先日の大イベントも大勢の皆さんが参加され、だいぶ周知されてきたようだ。長寿クラブやサロンの代表者会のみなさんで、音楽レクリエーション（人生100年まつり旅）を取り入れてほしい。



参加型音楽療法の様子

ラーケーションの導入について

議員 親の仕事の休日と子供の学校の休みが合わず、なかなか家族で一緒に過ごすことが難しいという声を聞いている。ラーケーションとは、ラーニング（学ぶ）と、バケーション（休暇）を掛け合わせた言葉で、児童生徒が平日に学校を休み、保護者等と一緒に体験活動を支援する制度である。よりよい児童生徒の成長のために箕輪町らしいラーケーション制度を考え、導入を検討してはどうか。

教育長 保護者の皆さんや地域の方々の声を聞きながら、また既に実施している他の地域の状況を把握した上で、研究をしていきたい。すぐにということはない。

学校と地域の垣根を低くするための課題は

教育長 敷居の高さがあったが転換期にある

議員 地域に開かれた学校づくりが進みつつある。地域と学校の垣根を低くするための課題は。



教育長 学校は敷居が高い所という雰囲気を作ってきた

おぐち ちせ
小口 智世 議員

が、転換期にある。垣根を低くする工夫や努力をしているので、地域住民にも理解してもらいたい。

議員 地域住民が学校づくりに関わると、学校を中心に地域全体が顔の見える関係になり、災害時にも共助がしやすくなる。地域住民ができる、こどもへのサポートは。

教育長 これまでも、田んぼ作りなどで協力を受けてきたが、ふるさとルームからミシン指導などの活動が広がっている。学校に来てもらっているからこそ必要なサポートが分かる。こどもたちも地域のお祭りなどに企画から参画して、一緒につくる関係性ができるといい。

議員 地域住民ができる、先生へのサポートは。

教育長 勤務の関係でできていないが、教職員も地域のお祭りに参加して、地域住民と一緒に活動する中で困りごとを率直に話せるようになるなど、自然な関係構築ができるといい。教職員の多忙化の問題があり、業務の洗い出しを検討中。ゆとりを生み出したい。

地域全体での子育て

議員 人間は、出産後孤独を感じさせるホルモンが分泌されて共同養育を促すようにできているため、孤独な子育ては無理。うまくいっていないと感じる母親は自分を責めないでほしいし、地域で子育てに関われるといい。民間企業が関わった子育てについて、どのような働きかけをしているか。

町長 企業へのアプローチが一番弱いので、強めたい。中小企業への意識啓発が必要。町内で、授乳やおむつ替えができるスペースを確保している商業施設等に、ベビーケアコーナーを表示するステッカー等を配布する事業を準備中。



町民の声



箕輪町議会では議会だよりのモニター制度を行っています。今回は94号に寄せられたご意見を紹介します。

■ 事業に関すること ■ 広報に関すること

モニター募集▶P20

特集「決算収支からみる私の町の一年」

- 単なる収支だけでなく、指摘事項や問題視している記載がとて良い。
- 財政状況の町村比較が知られてよかった。心配になりました。
- 福祉事業の70歳以上の非課税世帯を「貧困で困り」と一括りの設定は疑問。
- 子育て・少子化対策は、お金に対して、効果があるのか見えていない。
- 防災の内訳が見えない。どの程度コストをかけるべきだろう。みのわBASEが黒字になる仕組みは正しいのか。

「審査のなかみ」

- こども拠点事業は利用しにくい。いったい誰が対象なの？
- みのわBASEの管理料が高かったのが気になる。
- 「ことは解説」で、説明してくれて助かる。

特集「区長会と意見交換会」「区と常会自治は成り立つのか」

- 議員との共有は有意義な取り組み。毎月でも実施したほうが良い内容。
- 一番住民の声に近い考えと感じた。とても気になる内容で、興味深く読んだ。
- 大きな問題だ。「審議会or専門部会」の立ち上げが必要では。

「みのわまちのいいところ」

- 入場者数が増えても儲からないのはつらい事。値上げをしても利用者からは受け入れられると思う。
- いいところが、その課題と同じページになっていて良かった。ずっと続いてほしいという想いがわいた。

「一般質問」

- 色々な視点で色々な指摘、とても多様で良い質問が多い議会だった。
- 議会も土日、平日夜にやれば見に来る人が増えるかも！
- 「あなたに関心事はどれ？」と議員が取り上げられたテーマが可視化されていていい。

全体的な内容・その他

- 色、文字、サイズ、バランスが秀逸で、見やすいです。
- 今月も深みがあってとても良かった。また読みやすいものを期待。
- 通年通して、記事に連続性を持たせると読みやすいかも。

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

- 2日 議会活動活性化委員会・議会運営委員会
- 3日 上伊那議員管内研修
- 6日 第2回人権尊重のまちづくり審議会
- 8日 三重県朝日町行政視察
- 10日 中学生模擬議会学校訪問
- 11日 カデ・エペ ジュニアフェンシング選手権大会開会式
- 14日 福祉文教常任委員会
- 15日 総務産業常任委員会行政視察
職員労働組合結成50周年式典
- 16日 地域おこし協力隊活動報告会
- 18日 東京箕輪会定期総会
- 20日～22日 福祉文教常任委員会行政視察
- 23日 高大連携事業公開講座
- 24日 中学生模擬議会リハーサル
広域水道企業団定例会
- 29日 議会活動活性化委員会・議会委員長会
中学生模擬議会
- 30～31日 広域議会議員視察
- 3日 みのわ町民文化祭・町功労者表彰式・祝賀会
秋葉三尺坊・深澤鎮火社例大祭
- 4日 総務産業常任委員会視察（～6日）
上伊那広域連合議連
地方自治政策課題研修会
- 5日 社会教育委員会議
- 6日 東小学校ふれあい広場見学会
- 7日 木下一の宮産業団地造成計画住民説明会
- 8日 県青少年健全育成県民大会
自衛隊協会30周年記念事業
- 10日 議会運営委員会・
議会活動活性化委員会合同視察（～11日）
- 11日 国保運営協議会委員等研修会
- 12日 町村議長会全国大会
ゲートキーパー養成講座
- 13日 町村議長会全国大会・社協中間監査
- 14日 行政視察受入（兵庫県稲美町稲美新風会）
ペーパーレス化パソコン最終講習会
- 18日 臨時議会・定例協議会
- 19日 福祉文教常任委員会
- 20日 上伊那広域連合11月定例会
- 21日 松島議長団と民生児童委員
松島区会議員等の懇談会
- 23日 松島神社新嘗祭
- 25日 伊北議員研修会
- 26日 新春インタビューみのわのみ取材
- 27日 社協理事会
- 28日 キャリアフォーラム
庄内協働センターまつり
- 1日 中学校模擬議会お礼あいさつ
- 15日 年末の交通安全人波作戦
- 16日 長岡秋葉三尺坊祭典
- 17日 社協評議員会
もみじチャンネル新春インタビュー収録
- 18日 みのわ祭り実行委員会
- 23日 伊那中央行政組合議会
- 24日 定例協議会・議会運営委員会・臨時会
- 25日 博物館協議会
- 26日 福祉文教常任委員会

総務産業常任委員会視察（伊那市）

10/15(水)

■「地域おこし協力隊」「集落支援員」制度の取り組みについて

伊那市では地域おこし協力隊21名、集落支援員18名が明確なビジョンをもって、分野別・地域別に配置され、行政と地域をつなぎ、課題解決に貢献していた。職員の外部人材を雇う覚悟や意識が大切である。



卒隊後に経営しているカフェ

参加議員

入杉・岡田・中野・平出・荻原
金澤・上田・中澤

議会運営委員会・

11/10(月)～11(火)

議会活動活性化委員会合同視察研修

11/10 山ノ内町議会

■予算決算審査委員会の

運用について

11/11 佐久市議会

小諸市議会

■議員報酬引き上げについて

■議会BCP策定について



参加議員

中澤・上田・白鳥・小口・入杉・平出・岡田・寺平

伊北議員研修（箕輪町）

11/25(火)

伊那市・南箕輪村・辰野町・箕輪町の合同研修を行った。

■研修① ウェルビーイング実践校TOCO-TON

「子どもが主体の学校づくり」

講師 小林久通教育長

■研修② 郷土博物館見学

案内 柴秀毅館長



参加議員

上田・小口・入杉・平出・岡田
荻原・金澤・小出嶋・北野・白鳥
中澤・中野・中村・寺平

庄内協働センターまつり

11/28(金)～29(土)

静岡県庄内地区との友好交流会。今年は庄内地区・箕輪町友好交流推進協定締結30周年記念式典が特別に行なわれた。

参加議員

入杉・上田・白鳥



議会視察研修報告はこちら



総務産業常任委員会

- 日時 11月4日(火)～6日(木)
- 委員 岡田・中野・平出・荻原・金澤・上田・中澤
- 視察地 石川県(中能登町・羽咋市)福井県(あわら市・池田町)



石川県・中能登町 災害対策と課題を学ぶ

能登半島地震に関連し、発災からの被災者対応や議会対応、復興までの実態や課題を学んだ。発災直後は被害状況の確認や避難所開設など、人員不足と予算確保が課題となった。被災者による避難所運営や、職員の業務に配慮した議会対応などを紹介いただいた。被災者による避難所運営の検討や、アプリを活用した情報共有など、議会として直ちにに取り組める事例も学んだ。



中能登庁舎にて学ぶ

石川県・羽咋市 自然栽培の戦略と選ばれる農業

JAと自治体が共同して取り組む有機農業の普及について実情と課題を学んだ。自然栽培は小規模経営が鍵であり、経営規模4ha・農業所得700万円という具体的な目標を設定している。JA主催の農業塾で担い手育成に取り組む、今では羽咋米=自然栽培という認識が定着している。移住者にターゲットを絞った小規模経営は、箕輪町を含む中山間地の実情に合致した施策だと再認識した。



有機農業に取り組むJAはくいの出荷場

行政視察

防災・行政DX・農業政策・林業政策について、先進的な事業を実施している地域・自治体で具体的な施策を学んだ。どの視察先でも『どうあるべきか』という哲学が貫かれており、当町のまちづくりに活かすべき課題を共有した。

福井県・あわら市 人材で進めるDX

行政DX推進では、ICTアドバイザーの委嘱やDX推進員の育成により庁内の担い手を拡大し、産官学連携へと発展している。当町と方向性は近いが、外部人材の積極登用が特徴的で、地域活性化起業人やCDOの起用、企業連携が進む。職員の手上げ式参加や市民委員の募集など、全市民参加型の体制づくりは見習うべき点と感じる。



あわら市役所のロビー
市民向けスマホ講座などの会場にもなる

福井県・池田町 木で育むまち

人口約2000人の池田町は過疎化が進む一方、町の資源を活かした「木望の森百年プロジェクト」に取り組んでいる。新生児から成人式まで節目ごとに木製品のギフトを贈るなど、地場産業への愛着を育んでいた。また、全国から受講者が参加する木工教室や新庁舎の木造化など、地域の強みを活かした施策には住民を巻き込む工夫がみられ、課題解決に楽しんで取り組む発想が大切だと感じた。



ウッドラボ池田の工房内の壁



新生児から成人式まで節目ごとに木製品のギフトを贈る

議会視察研修報告はこちら▶



教育・福祉・交通などの先進事例を学び、地域の連携とリーダーの存在が課題解決の鍵であると実感した視察であった。今後、箕輪町でも住民と協働し、持続可能なまちづくりを進める視点を生かしていきたい。

岐阜県・白川町

切れ目のない支援を学ぶ

白川町でインクルーシブ教育を視察した。保育園と小学校の自然な交流をきっかけに、教育委員会と福祉部門が連携し、妊娠期から中学卒業まで継続支援する体制が整備されている。発達支援が必要な児童について関係機関が情報共有し、個別支援計画を途切れず引き継いでいる点が印象的であった。箕輪町でも、子どもの立場を重視した連携体制づくりが重要であると感じた。



インクルーシブ教育に力を入れる岐阜県白川町

滋賀県・日野町

地域で支える福祉を学ぶ

日野町では障がい者就労支援施設「わたむきの里」から、就労支援から生活支援まで一体で行う地域福祉の姿を学んだ。小学校との交流やボランティア育成、企業連携による就労機会の確保など、地域全体で支える仕組みが特徴である。住民参加型の活動にも取り組み、地域課題に向き合う姿勢が印象的であった。箕輪町でも、障がい者支援と地域づくりを結びつけた体制づくりが重要であると感じた。



85人が通所する日本最大級の規模を持つ「わたむきの里」

福祉文教常任委員会

日時 10月20日(月)～22日(水)

委員 寺平・北野・白鳥・小口・南・中村・小出嶋

視察地 岐阜県(白川町)愛知県(碧南市)滋賀県(日野町)



愛知県・碧南市

多世代交流の拠点を学ぶ

碧南市の幼老複合施設CORRINを視察し、多世代が自然に交流できる環境づくりを学んだ。こども園や高齢者デイサービスなどを一体化し、子どもと高齢者が互いに役割と生きがいを感じながら過ごす姿が印象的であった。地域住民も参加できる交流スペースにより、一体感のあるまちづくりが進んでいる。箕輪町でも、複合施設による地域課題解決と交流促進が有効であると感じた。



幼老複合施設CORRIN



「くいしんぼうデッキ」からは手元まで望むことができる



CORRIN(愛生館グループ)代表理事 小林清彦様

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治チカラ Vol.8

みのわ太鼓保存会

昭和54年9月に発足し、今年で46年。町内外はもとより海外まで数多くの公演に出演し、太鼓の響きを届けてきました。竣工式や成人式などの祝賀行事、福祉施設への慰問、災害復興支援など、太鼓演奏を通じて幅広く社会に貢献しています。平成9年には「全国太鼓フェスティバルinみのわ」を開催し、以後「日本



の太鼓inみのわ」を継続、運営の中心を担ってきました。平成15年にはみのわ太鼓ジュニアを発足し、町内の学校で指導を行うなど、後継者育成と文化継承にも尽力。こうした活動は箕輪町の新しい郷土芸能の発展に寄与し、令和7年度には団体として初めて功労者表彰を受賞しました。これからも太鼓の鼓動を響かせ、伝統を未来へつなぎます。

会員随時募集中



箕輪町 議会だより

みんなのぎかい モニターを募集します！

議会をより身近にし「町民の声」でお伝えするため、意見や感想を広くお聴きする「議会だより令和8年度モニター」を募集します。

- 内容：「議会だより」を読んでアンケートに回答する。
- 応募資格：2026年4月2日現在、18歳以上で町内在住の方
箕輪町、議会活動や議員に関心がある方など

- 定員：8人程度
選考：応募者の情報を確認して選考させていただきます。
- 任期：1年間
- 応募方法：議会事務局(箕輪町役場内)へご連絡ください。
右の二次元コードからもご応募できます。



申込みフォーム

- 応募締め切り：2026年3月19日
選考結果通知：2026年4月10日
- 問い合わせ：箕輪町議会事務局
電話 0265-79-3187
メール gikai@town.minowa.lg.jp

長野県町村議会議長会 自治功労者表彰



10年の長きにわたり地方自治の発展と町政の振興に尽力した荻原省三議員、小出嶋文雄議員、入杉百合子議員、中澤清明議員の4名(写真左より)。

【議会広報特別委員会】

中野 友美 (委員長) 上田 学 (副委員長)
荻原 省三 北野 めぐみ

議会事務局

電話 0265-79-3187(直)

ご意見・お問い合わせはコチラ▶



編集後記

今年には箕輪町発足70周年の節目の年にあたり、記念式典を始めとして様々な催しが行われました。改めて、先人たちの町づくりへのたゆまぬ努力に敬意を表します。私は議員になり10年が過ぎようとしていますが、がむしゃらに走り抜いてきた10年で箕輪町の町づくりに何か貢献できたのだろうか考える日々です。11月に開催した中学生による模擬議会を特集しました。この頑固頭ではとても思いつかないアイデアや視点が新鮮で非常に感心しました。彼らが大人になり、町づくりに参加する立場になったとき、どのような箕輪町を創造していくのか楽しみにしたいと思います。(荻原省三)